

新規参入者の育成による産地活性化

要約

県内の促成イチゴや夏秋ナスは経営的に有力な品目であるが、担い手の高齢化や後継者不足により、栽培面積が減少している。そのため、促成イチゴ栽培や夏秋ナス栽培に取り組む新規参入者等を対象に、早期の技術習得と経営安定を目的として栽培技術講習会を開催した。

現状(背景)と課題

- 担い手の高齢化や後継者不足による栽培面積の減少
イチゴ
H15年 205ha → H24年 117ha
ナス
H15年 126ha → H24年 97ha
- 新規参入者等が就農定着するには栽培の基礎的知識習得と技能向上が必要

目標

- 講習会開催 年間6回
促成イチゴ
受講者数 5名、栽培面積 25a
夏秋ナス
受講者数 5名、栽培面積 50a

活動内容

- 促成イチゴおよび夏秋ナスの新規参入者等を対象として、農業研究開発センター内で基礎的な栽培管理技術の講義と実習を行い、各受講者の栽培圃場において現地指導を実施した。

成果

- 栽培技術講習会を各品目年間6回開催 (H19~26)
促成イチゴ → 累計受講者数 100名、累計栽培面積 12.83ha
夏秋ナス → 累計受講者数 86名、累計栽培面積 5.38ha



講義



イチゴの育苗実習



ナスの誘引実習

農業研究開発センター 技術支援課
担当：野菜指導係 安藤正明・吉村あみ・西村憲三
小畠巳奈・堀川大輔

普及活動のポイント

- 新規参入者には、栽培に関する基礎的知識や技能が不足しているため、基礎的な栽培技術の講義、実習及び現地優良圃場の視察を年間6回開催。
- 早期の技術修得および経営安定に向けて、講習会と並行して各受講者の圃場で現地指導を実施。

対象の変化

- 新規参入者等が栽培技術を学習できる場を設け、この講習会を受講したことにより、促成イチゴおよび夏秋ナスの年間栽培スケジュールや基礎的な管理技術の習得が進んだ。

対象者からのコメント

- 促成イチゴや夏秋ナスの栽培について分からないことが多かったので、病虫害防除や栽培管理に関する疑問を相談することができて良かった。
- 講習会に参加することで促成イチゴや夏秋ナス栽培に対する基礎的な理解が深まった。
- 他地域の新規参入者と関わりを持つことができた。

これからの活動ビジョン

- 各地区で開催される講習会や現地指導を通じて、新規参入者の経営が早期に安定するよう技術支援を行う。

活動体制

